

公明新聞

「国民の声」反映が使命 冬柴幹事長 首長、経済界の要望聞く

名古屋で列島フォーラム

公明党の冬柴鉄三幹事長は26日、名古屋市内で開かれた列島縦断フォーラムに出席し、「愛知経済の現状と展望」をテーマに、県内の自治体首長や経済団体の代表から要望を受け、活発に意見交換した。これには、東順例区、山本保(同)愛知選挙区、鰐淵洋子の各参院議員が出席した。

あいさつに立った冬柴



要望を受ける冬柴幹事長(向こう側前列右から4人目)ら=26日 名古屋市

幹事長は「公明党は大衆のための政党。皆さまの声を政治に反映させる使命を持っている」と述べた。神田真秋・愛知県知事は、道州制の推進について「地方の自立や特色ある、まちづくりにもつながる」と述べ、国民への啓発活動を積極的に行うよう要望。これに対し、冬柴幹事長は「国民の中で広い議論が必要だ」として、慎重に検討する考えを示した。

このほか、経済団体の代表からは、原油をほじめとする原材料価格の高騰への対策を求める意見や、中小企業関連の政府予算の拡充を求める要望などが出された。

冬柴幹事長の後列、右から3人目が私です